

やまがた



74号

2021年11月1日発行

- 第3回定例会 P 2・3
- 常任委員会報告 P 3～6
- 一般質問 P 6～10
- 特別委員会報告 P 10
- 政務活動費・議会報告並びに意見交換会のお知らせ ... P 11
- 議会活動日誌・第4回(12月)定例会予定 P 12



▲大桑城跡 伝「台所」での発掘調査

第3回定例会

9月2日～9月24日
(23日間)

人事案件	1件
条例案件	6件
決算案件	2件
予算案件	3件
その他案件	2件
意見書	1件
報告案件	2件

議案の審議結果

人事案件

議第80号	山県市副市長の選任同意について	同意(全会一致)
-------	-----------------	----------

条例案件

議第69号	デジタル改革関連法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	可決(全会一致)
議第70号	山県市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例について	可決(全会一致)
議第71号	地域経済牽引事業の促進に係る山県市固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第72号	山県市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第73号	山県市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第74号	山県市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)

決算案件

認第1号	令和2年度山県市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認第2号	令和2年度山県市水道事業会計決算の認定について	認定(全会一致)

予算案件

議第75号	令和3年度山県市一般会計補正予算(第4号)	可決(全会一致)
議第76号	令和3年度山県市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
議第77号	令和3年度山県市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)

その他案件

議第78号	山県市過疎地域持続的発展計画の策定について	可決(全会一致)
議第79号	柿野辺地総合整備計画の変更について	可決(全会一致)

意見書

発議第4号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について	可決(全会一致)
-------	---------------------------------------	----------

報告案件

報第4号	財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	-
報第5号	山県市教育委員会の事務事業の点検評価結果の報告について	-

賛否が分かれた議案

議案番号	議決結果	田中辰典	奥田真也	寺町祥江	加藤裕章	古川雅一	加藤義信	郷明夫	操知子	福井一徳	山崎通	吉田茂広	石神真	武藤孝成
認第1号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	-

※○は賛成、●は反対。なお、議長は採決には加わらない。

採決にあたっての主な討論

認第1号 令和2年度山県市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

反対討論

マイナンバー制度は、複数の行政機関に存在する特定の個人情報が入ったマイナンバーカードを一つの基盤とする。マイナンバーを使った情報連携を実現するため、番号法に基づき行政機関等のコンピュータを結ぶ情報提供ネットワークシステムが構築、運用されているが、個人情報保護の不徹底や情報漏洩が続き、法整備も不十分なままである。基本的な権利が脅かされる危険性を持ったマイナンバーシステム、カードの普及を推進する事業を含むものについては反対する。

可決された意見書

第3回定例会では、厚生文教委員会から提出された1件の意見書を内閣総理大臣ほか政府関係機関などへ提出した。

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し
地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも影響が及び地方財政は引き続き厳しい状況に直面している。地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保などの喫緊の課題に迫られているほか、社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増大する財政需要に見合う財源が求められる。その財源確保のため、令和4年度地方税制改正に向け、十分な総額の確保や現行の特例措置の終了など確実に実現されるよう、強く要望する。

常任委員会に

付託された議案を審議

総務産業建設委員会

主な質疑

決算案件

【認第1号】 令和2年度山県市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

Q 防犯灯の新設工事は年間で何基あるか。また、今後の維持費はどのようか。

A 令和2年度末で、市内には3464基設置されている。そのうち、令和2年度は移転を含め17基新設した。

維持費については、LED化により故障は減ったが、破損による修理要因が多く、年間100万円前後で推移していくと考えている。

Q 文書管理システム導入委託事業の予算額1千万円に対し、事業費が495万円と、不用額が505万円となっているが、積算が正しいのか。

A プロポーザル方式で3社の応募があり、提案内容にあまり違いはなく、一番安いところで決定した。また、導入後の保守料含めた提案である。

Q シティプロモーションを通じて、交流人口の増加を、どのような評価から効果を測定しているのか。

A インスタグラム・フェイスブックなどSNSを立ち上げており、そのフォローワー数を情報の交流人口としてカウントし評価している。

Q コワーキングスペースとして市北部の空き家を整備したあと、どのように活用されているのか。

A 令和2年度に整備をし、モニタリングとして利用していた。令和3年度は、4月以降、平日の利用もあるが、主に土日に1棟貸し切り利用される事例が多い。

また、地域の人にも無料開放デーを設けるなど、令和3年度は、順調に予約が入っている。



▲北部にある改修空家「神崎よってちよ」



Q 空家バンク登録物件開拓事業は総合ボランティアサポートセンターに委託とあるが、登録物件をどのように開拓しているのか。

A 令和2年度は、高富地域を空家マップ開拓エリアとし、空き家の状況や活用の可能性、管理状況などを調べた。

コンタクトがとれた人には、空家バンクへの登録制度を案内している。

Q 市内における危険な空き家などは、どの程度撤去されたのか。

また、今後の除却計画はどのようなか。

A 令和2年度は、13件の申請のうち、12件が該当し撤去した。平成29年度から制度を開始し、22件の除却が完了している。

所有者に対しホームページや広報紙に掲載し、啓発活動に努めていく。

Q 農地利用の集積・集約化を実施しているが、遊休農地が解消しない理由は。

A 遊休農地の解消は喫緊の課題と捉えているが、担い手の高齢化などにより増加していくのではないかと考えている。

そのため、農地中間管理事業などの利用について通知している。

Q 整備された「おおが城山公園」の栗ゾーンは、6次産業化を目指した市総合計画の対象にしているのか。

また、栗ゾーンの収穫時期の目安や収穫量の予測はどのようなか。

A 令和元年からの事業で、基本的には学生対象の研究や、農業体験を予定している。

令和5年10月～11月を収穫時期の目安と考え、収穫量は、令和5年で300kgほどを希望的な予測としている。

収穫量が増えれば6次化も考えていきたい。

Q 元気な農業産地構造改革支援事業補助金で、基幹的協働利用施設の改良整備の内容は。

また、経営的な見直しは何年スパンで考えているのか。

A 農業協同組合などが生産者に施設を貸し出すことを想定し、今回は、ぎふ農業協同組合のイチゴ栽培施設と育苗施設が対象となっている。

その後の収入安定化などの経営的な見直しは、5年を目安としている。

Q 商工会補助金2千100万円の事業費において、中小企業及び小規模企業振興基本条例が制定されたが、その観点から、具体的な支援事業は何か。

A 新型コロナウイルス感染症防止対策を踏まえ、通常の事業が展開できないことがあり、きめ細やかに事業者をフォローした。

資金繰りの対策や経営改革の策定など、指導員が通常の約2倍の回数を訪問し、丁寧に対応したことを確認している。

Q 大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を契機としたさまざまな事業について、市としての事業総括と評価はどのようなか。

A 放送を契機に観光客を受け入れることを、市民や事業者などを巻き込んで考えるきっかけになったことは、今までにない取り組みとして評価している。

また、大河ドラマと関連した番組の放映もあり、山県市の知名度向上に貢献、寄与があったと考えている。

Q 洪水ハザードマップでは浸水域が最大の想定の場合、桜尾・富岡・高富地区の多くの避難所が浸水する恐れがあるが、個人個人で避難方法を想定する啓発はされているのか。

A 100年～150年に1度と、千年に1度の雨量を想定して示しており、危険箇所を知らせる目的で作成した。

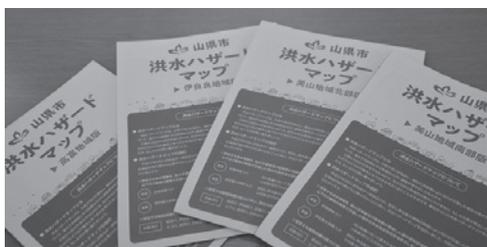
ハザードマップ内にも避難方法を掲載しており、防災講演会などでもPRしている。



▲巡回写真展



▲ガイドオンラインツアー



▲ハザードマップ

採決の結果、付託された議第69号、認第1号、議第75号、議第78号及び議第79号は全会一致で、原案のとおり可決すべきと決定した。

厚生文教委員会

主な質疑

決算案件

【認第1号】令和2年度山県市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

Q 人権教育・啓発推進協議会の開催回数と継続予定は。

A 令和2年度は、6月と3月の2回実施した。人権啓発の推進のため、活動は継続する。

Q 美里会館各種講座のコロナ禍での開催回数は。

A 緊急事態宣言の合間を縫って、50回程開催した。



Q 美里会館のエアコン点検費用は、施設維持管理費等と修繕工事費等のどちらに含まれるのか。

A エアコンの点検費用はどちらにも含んでいない。

Q エアコン設置台数5台に対し、修繕工事費等は5年間で127万5千円と多く感じる。令和2年度の20万円の内訳は。また、今後も取り替えるのか。

A 内訳は、事務室1台分の取り替え費用である。合併以前から使用していたものを令和2年度まで全て取り替えたため、今後取り替える予定はない。

Q シルバー人材センター補助金の160万円増加の内訳は。

A コロナ禍における緊急的な移動販売を実施したものの。

Q 移動販売の実施先は。

A 伊自良北部、大桑、椎倉エリアで実施した。



▲移動販売車

Q 家庭児童相談について、令和2年度の相談件数は。

A 月に1回関わる場合と週に何度か関わる場合があるため、件数のカウントが難しいが、県に報告した数値は50件で、年間で目立った増加はしていない。

Q 家庭児童相談員2人で対応可能か。

A 2人では対応できないため、保健師、学校などと連携を深めている。来年度、子ども家庭総合支援拠点施設を設置し、関係機関と連携を高めていく。

Q 教育用ネットワーク保守点検業務委託580万円が、成果説明にないのはなぜか。

A 全ての事業を成果説明に掲載していないためである。

Q 教員用パソコンの保守を削減した理由は。

また、トラブルが発生した際、職員が対応するより、保守委託したほうがいいのではないか。

A トラブルが発生した際、簡易な作業や教員で解消できるものであったため、削除した。保守の必要性については、今後検討する。



Q 特色ある学校づくり事業の補助内容と、この地域の人と交流したのか。

A 合同の防災訓練を実施した。主に地域に住んでいる人や、働いている人を講師に迎えた。なお、参加人数までは把握していない。



▲合同防災訓練の様子(高富中学校)



予算案件

【議第75号】令和3年度山県市一般会計補正予算(第4号)

Q 教育ICT関連備品購入について、小学校と中学校は同じ事業成果だったのか。

A 全く同じとは言えないが、どちらも分かりやすい授業が実施できたため、同じ成果だと考える。

Q 電子黒板と大型テレビを電子黒板化するユニット式があるが統一することはできないか。

A それぞれの特徴を生かし、必要に応じて利用の幅を持たせるために、ユニット式も採用した。



▲導入された電子黒板



Q 保育園各種工事により、全ての保育園で換気できるようにになったのか。

A 令和2年度に全園換気できるようにし、遺漏のないよう工事箇所を確認をしていたが、より安全性を高めようと修繕の必要箇所があったため、補正で対応した。

Q 保育園での自園調理の実施について、今後の課題はあるか。

A 感染症のリスクはあるが、今後はマニュアルを作成し感染症対策を実施していく。

Q 新型コロナウイルスワクチン接種の際、キャンセルで余った場合の取り扱い。

A 一般の方のキャンセル待ちを募集している。無駄にならないように調整している。

Q GIGAスクールサポーター配置業務委託料を当初予算に計上できなかった理由は。

A タブレット端末を中学校3年生から小学校1年生に移譲する場合、学校では対応できない作業であることが判明したため、補正で対応した。

Q タブレット端末の保守点検業務委託費を削減したことで、学校現場が苦勞しているが、専門業者に委託したほうがいいのではないか。

A 保守契約は理想だが、将来を展望すると、故障した場合は余剰端末と交換して対応していく。

採決の結果、付託された議第70号から議第74号、認第1号及び認第2号、議第75号から議第77号は全会一致で、原案のとおり可決すべきと決定した。

一般質問

令和3年 第3回定例会

8人の議員が登壇し、市政を問う



福井一徳 議員

Q-1 富岡橋架け替えと市道14009号改良工事に伴う通学路の安全確保は

A 関係機関と連携を図り、安全確保に努める

Q-2 6月議会に続き、水道料金50%値上げ案は規模縮小を

A 経営戦略の定期的な見直しを行い慎重に検討する

Q1 4年間の富岡橋工事期間中、通学路の安全対策で、富岡2号橋(通称なわて橋)北側2mの歩道と4mの車道間にガードレールの設置、警備員の確保を行うべきかどうか。

A 通学路変更に伴う子どもの安全確保対策については、教育委員会・建設課とその都度協議し、共通認識を進める予定である。併せて、地域の見守り隊・地元住民・保護者の協力も必要不可欠だと考える。今後も各関係機関とその都度協議しながら安全確保対策を進める。

Q1 富岡小の全校児童の半数が使用する、なわて橋と富岡橋の一本化は、市から要望したものか。

A 今後、鳥羽川河川改良工事計画があるため、総合的に考え、市から県へ要望した。

Q2 計画では管路取替え敷設や施設整備に約6億円の経費がかかり、水道料金を50%値上げすると、令和11年には累計で8億3千万円の料金収入増になる。令和12年からは合併時の投資返済が終わりに近づき、返済総額は減少期に入る。50%値上げ計画ありきではなく、状況をみて検討すべきでは。

A 経営戦略は、10年後にも健全な経営を維持できるように、さまざまな収支予測をもとに収支がプラスになることを前提に推計したもの。その試算結果が必要となる料金収入を算出し改定率を示している。改定率が確定しているものではない。毎年の経営状況を算入し定期的に経営戦略を見直し、おおむね3年から5年とされている料金算定期間に沿って適正な原価に照らし財政収支を検証し、改正率や改定時期を慎重に検討する。

その他の質問

・太陽光発電設備設置に関する「山県市条例の制定」の進捗状況について



田中 辰典 議員

Q-1 森林の保全、整備の取り組みは

A 災害に強い森林づくりを目指し、森林の保全整備に取り組む

Q-2 防犯カメラ設置の推進を

A プライバシー対策にも配慮した防犯カメラの設置に取り組む

Q-2 市民の安心、安全のため、防犯カメラを推進するべきだと考える。昨年度、本年度現在の設置状況は。

A 治山事業については、要望箇所を早期に実施できるよう、県に対して引き続き要望していく。また、間伐事業については、国や県の補助事業を積極的に活用する。既存の事業では対象にならない場合は、市の単独補助事業により間伐を進めていく。

Q-1 今後の森林保全整備の取り組み方針は。

A 令和2年度には、市内で8カ所の治山事業を実施した。森林整備事業では、特に間伐事業を重点的に進め、森林組合をはじめ、市内の林業事業者が、国や県の補助事業を活用し、実施している。令和2年度の間伐事業の実績は、334haである。

Q-1 森林は、適切な保全整備を通じて、自然災害の防止に寄与している。現在の森林保全、整備の取り組み状況は。

A 令和2年度は、5自治会で6台を設置し、令和3年度は、現時点で1台の補助金交付申請があった。

Q-2 プライバシー権の対策は。

A 「山県市防犯カメラの設置及び運用に関する要綱」や「自治会における防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」を策定し、個人情報などに配慮しながら運用している。

Q-2 防犯カメラ推進についての見解は。

A 現在、山県警察署から設置箇所のアドバイスを受け、自治会連合会長会議で設置について協議を行っている。その結果も参考にして、予算の範囲内で自治会や地区自治会連合にも設置してもらいたい。



▲設置された防犯カメラ

Q-1 マスクをつけられない人への理解を

A 市民の理解のため、ホームページで周知する

Q-2 ワクチン集団接種体制の今後の課題は

A 問題点をその都度話し合い、改善してきた



操 知子 議員

Q-3 コロナ禍における特定健診の受診率向上に向けた取り組みは

A 個別医療機関健診と集団健診の両方の実施を継続する

A まだ接種できていない人には、かかりつけ医へ相談するように、包括支援センターの職員から伝えてもらっている。

Q-2 高齢者のワクチン接種は7月末完了としていたが、一人暮らしなどの理由で未接種である高齢者への対策は。

A 「コロナ禍における障がい者等への配慮について」として、ホームページに掲載しているが、それ以外の対策は、現在のところ考えていない。今後相談があれば、意思表示カードなどの対策方法があることを紹介し、自身の選択で利用してもらいたいと考えている。

Q-1 皮膚の病気、脳の障がい、発達障がいに伴う感覚過敏など、さまざまな事情によりマスクの着用が困難な人がいる。バスなどの公共交通機関では、介護者、本人が、マスクをつけられないことを説明をしている。意思表示カードの配布やポスターを掲示するなど、周囲への理解を求めやすくする環境づくりが必要であると考える。市の対策は。

A 本市の受診率は、令和元年度から1.3%減少したが、他市町と比較すると感染症拡大の影響は小さい。医療機関には、特定健康診査実施の協力をお願いし、集団健診では、休日健診の実施、がん検診との同日実施など、受診しやすい環境を継続し、周知する。

Q-3 がん検診と同様、特定健診の受診率は全国的に減少している。感染症拡大に伴い、感染を恐れて特定健診の受診を控える人が多くなっているが、受診率向上に向けた取り組みは。

A 書類などを忘れた場合は、確認のうえ後日持ってきてもらっている。チェック体制を強化し、その都度問題点を話し合い、改善してきた。

Q-2 接種当日、接種券などを忘れた場合、暑い中、高齢者が自宅まで歩いて取り戻ることがあり、熱中症など身体面での心配があった。接種体制の今後の課題は。





奥田 真也 議員

Q-1 職員のモチベーション向上のための対応は

A 職員が業務に集中できる環境の整備を実施

Q-2 GIGAスクール構想のこれからは

A 学校や子どもの実態に応じて対応

Q-1 新型コロナウイルス感染症対策などにより職員の業務量が増えている。超過勤務や休暇を取得できていない職員の実態は。(健康介護課・職員全体)

A ワクチン接種がスタートして以降、健康介護課職員の4カ月の平均時間外は、90時間超え1人、80時間超え1人、40時間超え4人であった。4月から8月末までの有給休暇取得状況は、課員の平均取得日数が2日と7時間で、夏季休暇もなかなか取得できていない。

職員全体では、新型コロナウイルス感染症対策以外の業務で、月80時間を超えた職員は、4月から8月末までは1人で、4月の1カ月のみである。

年次有給休暇の取得は、令和2年度では職員一人あたり平均11・89日取得しており、年々増加傾向になっている。

Q-1 モチベーションを向上させるための対応についての考えは。

A 業務多忙により職員が疲弊しないよう、毎週水曜日は「ノー残業デー」、毎月19日は「ワークライフバランスデー」を設け、定時退庁するように周知している。

Q-2 GIGAスクール構想でタブレットの多様な活用が実現している中、新たな取り組みやデジタル教科書の運用状況は。また、機の面積拡張やコミュニケーションアプリの運用についての考えは。

A 2学期スタート時に、タブレット端末を活用して、オンラインで学校と家庭を結んだ学習の試行を行った。これにより、学級閉鎖や臨時休業などになっても、オンラインによる学習が可能となった。児童生徒用のデジタル教科書は今後国の動向を注視していく。

また、機の拡張やコミュニケーションアプリについては、校長会と協議する。

Q-1 地産地消の推進を

A 地産地消や農業振興に改めて力を注いでいく

Q-2 人口減少対策につなげる奨学金返済支援制度の取り組みは

A 総合的対策と共に制度周知に努める



加藤 義信 議員

Q-1 コロナ禍による市内経済への影響が長期化する中、地域資源を生かした地産地消の取り組みは、SDGsにおける「エシカル消費」を推進するためにも重要である。

今こそ、農産物などの消費拡大に向け、「やまがた地産地消の日」を制定し、取り組んではどうか。

A 市内には、てんこもり農産物直売所やふれあいバザールもあり、また、山県ばすけっともオープンしたことで、地産地消や農業振興に改めて力を注いでいく必要があると考える。

地元の農産物の消費拡大につなげていけるよう、地産地消の日の制定を検討していきたい。

Q-2 令和3年4月から開始された、企業による奨学金返済支援制度「代理返還」の取り組みは。

A 各種奨学金制度のうち日本大学生支援機構の「代理返還」は、貸与奨学金を受けていた従業員に企業が返還額の支援をする場合、企業から同機構へ

の送金が可能となり、従業員と企業双方にメリットが見込めるものである。本市においても幅広く周知していく。

Q-2 若者のUターンなど定住を促す、市独自の奨学金負担軽減のための経済的支援の導入についての考えは。

A 人口減少対策には広い観点での対策が必要であり、4つの重点施策である「子育てしやすいまち」、「生涯健康に暮らせるまち」、「安心して暮らせるまち」、さらに「活力あるまち」の中では「山県ICの開通を契機としたまちづくりの推進」に取り組んでいる。

また、地域への想いと地元で活躍する魅力を実感できる教育も重要である。総合的対策とあわせ、若者支援制度のあり方について幅広く精査していく。

※エシカル消費とは消費者が各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと。



郷 明夫 議員

Q-1 上水道管破裂事故への対応は

A 市管設備組合と連携して迅速に対応している

Q-2 スクミリングカイの駆除方針は

A 注意喚起をし、駆除方法等のサポートをしていく

令和2年度、令和21年度の水道施設の中長期更新計画を策定済み。さらに直近5カ年計画として、特に古い管路や漏水が多い地区を今年度から

Q-1 上水道敷設替え計画の策定状況は。

業者とは、広範囲に渡る修繕工事や不足する資材の業者間調達など、市管設備組合と連携し対応している。

場合、広報車で周知している。業者とは、広範囲に渡る修繕工事や不足する資材の業者間調達など、市管設備組合と連携し対応している。

漏水修理時、断水を伴う場合は、対象者の自宅訪問と自治会長への周知を行う。また、広範囲の場合は、広報車で周知している。

Q-1 事故発生時の市の連絡体制、周知方法、業者間連携は。

A 令和2年度は8件、令和3年度は上半期だけで8件発生している。

Q-1 7月10日(土)朝、北町で上水道管破裂事故が発生し、21時に復旧した。水道管破裂等の事故発生件数は。

A 漏水調査の結果や耐震管への更新状況などを総合的に判断して、面的な敷設替え工事を実施している。

Q-1 漏水調査による敷設替え工事状況は。

重点的に更新している。



▲ジャンボタニシの卵

最終的な駆除は、該当地域の農業者などで行ってもらいたい。農林畜産課が相談に乗るなど、サポートしていきたい。

A ジャンボタニシは、平成29年にも確認されており、前回と同様、農事改良組合長と水利組合長に注意喚起をし、農林事務所農業普及課の担当者などに、駆除方法などの指導を行ってもらう。

Q-2 スクミリングカイは、ジャンボタニシとも呼ばれる南米原産の大型巻貝である。稲を食害する農業害虫で、市南東部長尾用水に繁殖し、早急に駆除が必要であるが、市の対策は。

Q 脱炭素社会実現のための森林整備を

A 森林整備事業の推進を図っていく



吉田 茂広 議員

このほか、森林技術者の就業支援策として、チェンソー、重機操作など、林業に関する資格取得や研修参加費用への補助、作業の効率化のための機械導入に対する補助

22haを実施した。

A 令和2年度の森林環境譲与税に関する森林整備事業の実績は、間伐事業約9haに補助している。また、平成30年度の台風により発生した風倒木による二次災害を防止するため、約1haの森林内の倒木の整理、撤去を実施した。県の補助事業となるが、森林組合を含む林業事業体において、市内で約241haの間伐事業を実施、また、里山林整備事業として、7カ所、22haを実施した。

Q 脱炭素社会実現のため、再生可能エネルギーの導入で二酸化炭素の排出を抑制することと同様に、吸収にも力を注ぐ必要がある。



A 県においても森林環境税が創設され、一人千円を納付している。山の無い市町が山を有する市町の森林整備に充てることで、県全体の排出量と相殺している。

Q 山県市の面積のうち84%を森林が占めるが、環境面への貢献などを踏まえ、今後の整備の方針はどのようか。

事業を創設した。今後、引き続き担い手を確保するための効果的な支援を行っていく。

一般質問



寺町 祥江 議員

Q 時代を生き抜く行政力の向上を

A 職員の資質向上と行政改革の推進

Q 私たちを取り巻く環境が急速に変化する今、正解や前例のないさまざまな事態に対し、行政には専門性の高い適確な政策立案と迅速かつ機動的な執行が期待される。コロナ禍において、職員の資質向上を図る取り組みの進捗はどのようか。

A 新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう状況ではあるが、職員には専門的知識や技術の習得ができるよう岐阜県市町村職員研修センターをはじめとする研修には積極的に参加するよう促している。

その結果、令和2年度は各種研修の参加者数が延べ600人を超え、一定の研修の効果、進捗があったと考える。

また、人事評価を実施し、職員全員が目標を立て、自己業務実績の振り返りと意識改革への動機付けを実施するなどを重点的に取り組んでいる。

※DX(デジタル・トランスフォーメーション)とはデジタル技術を活用した、社会の課題を解決するための改革のこと。

Q 今後加速する※DX推進にあたり、行政改革大綱などの見直しや柔軟な推進体制を構築し、市民が恩恵を実感できる行政サービスを。

A DX推進にあたり、極めて多くの業務に関する取り組みであるため、国や県の取り組みや考え方を、基準などを参考にしながら、情報・行政改革・法令・財政・窓口の担当など全庁的・横断的な推進体制を整備していきたいと考えている。

今後、市独自のDX計画を策定するかは未定だが、行政改革大綱を着実に計画的に推進するための実施計画には、DX計画に関する取り組みを盛り込んでいく必要があると考える。

行政改革大綱などは、山県市行政改革推進委員会などの審議機関があるため、実施状況の点検や見直しを行う際は、DX計画の情報を提供し助言を頂きながら、改訂についても進めていきたいと考えている。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

市長に要望書を提出(7月6日)

新型コロナウイルス感染症第4波の終息を目指し、さまざまな感染症対策がとられ、ワクチン接種が進む中、感染者や医療従事者等エッセンシャルワーカーへの差別、ワクチン接種の強要、ワクチンを打たないことを選択した人に対する差別的な扱いなど、さまざまな差別が危惧される。

市では、令和2年12月に「山県市感染症の患者等の人権の擁護に関する条例」を制定し、シトラスリボンプロジェクトに賛同、シトラスリボンステッカーの作成により、広く市民に啓発した。同プロジェクトは、市商工会からも賛同を得て、広く市内事業者に啓発することになった。

更なる啓発のため、具体的に検討し早急に実施するよう、議長から市長に要望書を提出した。



▲議長から市長へ要望書を提出

私たちは「シトラスリボンプロジェクト」に賛同し安心した暮らしを続けられる社会を目指します。



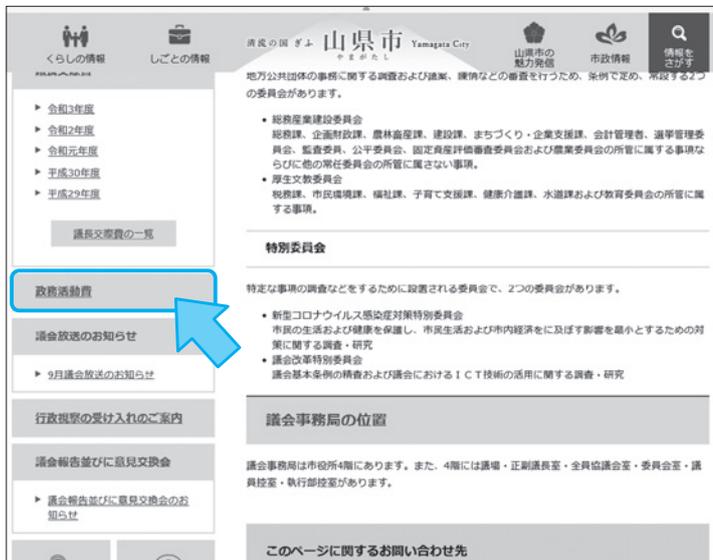
その後の対応…

市は要望書を受けて、商工会と協働で作成したシトラスリボンピンバッジを、商工会員、市職員、市内の学校などに配布した。誰もが笑顔で安心した暮らしを続けられることを願い、各自ピンバッジを着用し、シトラスリボンプロジェクトの普及、啓発を行っている。



ホームページで政務活動費について公開しています

市議会では、政務活動費の透明性を高めるため、10月1日からホームページで収支報告書などの公開を開始しました。



政務活動費って
どんなもの？



ナッチョルくん

政務活動費とは

議員が調査研究その他の活動を行うため必要な経費の一部として交付されるものです。議員一人当たり月額2万円(年24万円)交付されています。年度ごとに収支報告を行い、残余があれば返還しています。

主な使途

調査研究費、研修費、広報費、資料作成・購入費 など

公開内容

- ① 収支報告書
- ② 会計帳簿
- ③ 領収書など

ホームページの公開以外に、市役所4階議会事務局で収支報告書などの写しを閲覧できます。



山県市議会

検索

市ホームページ「情報をさがす」から、記事IDでも検索できます。【ID：24114】



左のQRコードから
政務活動費のページに
アクセスできます。



議会報告並びに意見交換会 開催見合わせのお知らせ



市議会では、市民の皆さんに議会活動の報告と、議会や市政について意見を伺う会を平成26年度から開催してきました。

例年10月ごろに開催していますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の予防・拡大防止のため、今秋の開催を見合わせることにしました。

今後実施日程が決まりましたら、チラシ・市議会ホームページなどでお知らせします。



▲昨年度の様子(左から富岡公民館、美山中央公民館、伊自良中央公民館)



議会活動日誌

7月

- 2日(金) 山県ばすけっとオープンニングセレモニー
- 7日(水) 議会報編集委員会
- 8日(木) 東海環状自動車道西回りルート建設促進大会
- 9日(金) 第286回岐阜県市議会議長会議
- 19日(月) 議会報編集委員会
東海環状自動車道建設促進岐阜県西部協議会、国道21号・22号及び岐阜南部横断ハイウェイ整備促進期成同盟会合同総会



▲山県ばすけっとオープンニングセレモニー

8月

- 3日(火) 主要地方道関・本巢線整備促進期成同盟会定期総会
- 26日(木) 岐北衛生施設利用組合議会定例会
- 27日(金) 議会運営委員会
- 30日(月) 全員協議会
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会



9月

- 2日(木) 第3回定例会本会議(開会)
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
- 6日(月) 議会運営委員会
- 9日(木) 本会議(質疑)
議会報編集委員会
- 13日(月) 総務産業建設委員会
- 14日(火) 厚生文教委員会
- 17日(金) 本会議(一般質問)
- 18日(土) 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 視察
- 19日(日)
- 21日(火) 本会議(一般質問)
- 24日(金) 議会運営委員会
本会議
(委員長報告・質疑・討論・採決・閉会)
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

テレビ放映のお知らせ

令和3年第4回(12月)定例会 本会議の「提案説明」と「一般質問」をチャンネル長良川で放送します。

12月24日(金) 12時~CCN12
12月26日(日) 17時~CCN12(サブチャンネル)



ホームページ



市ホームページ(山県市議会)にアクセスできます。

山県市議会 検索

<https://www.city.yamagata.gifu.jp/site/gikai/>

令和3年第4回(12月) 議会定例会予定

11月29日(月)	本会議(提案説明)
12月 6日(月)	本会議(質疑)
9日(木)	総務産業建設委員会
10日(金)	厚生文教委員会
13日(月)	本会議(一般質問)
14日(火)	本会議(一般質問)
17日(金)	本会議(委員長報告・討論・採決)

※会議は、原則午前10時より開会します。
※傍聴を希望する場合は、傍聴受付で傍聴券を受け取り、入場してください。
※日程を変更することもありますので、事前に議会事務局(22-6840)にお問い合わせください。

編集後記

※御野国山方郡、こちら山県市にも紅葉の便りが届く今日この頃ですが、お元気で過ごしましょうか。

栗まつりを始め、市内各地ではコロナ禍の影響を受け、イベントの中止が相次いでいます。秋といえば食欲の秋、スポーツの秋、市民の皆様が元気に過ごせる日常を大切にしていく山県市議会でありたいと願っています。

皆様、時節柄くれぐれもご自愛ください。

(文責 操 知子)

※御野国山方郡：正倉院に残されている戸籍に、美濃地方を指す「御野国」、山県市の「やまがた」に由来する「山方郡」の文字が記されている。

- 編集委員**
- 【委員長】 操 知子
 - 【委員】 古川 雅一
 - 【委員】 奥田 明夫
 - 【委員】 郷 辰典
 - 【副委員長】 奥田 辰典